# 良質15 + 1.52SGP + 15 + 1.52SGP + 10mm弾丸はガラス供給を強化した

約**43mm**の防弾ラミネートガラス

43mm SGP防弾ラミネートガラスとも呼ばれる43mm SPG弾丸耐性ラミネートガラス。それは 15mm透明フロートガラス + 1.52mm SGP中間層+ 15mm透明フロートガラス+ 1.52mm SGP中間層+10mmクリアフロートガラス。弾道ガラス、透明防護服、または耐弾雪ガラスとも呼ばれる防弾ガラスは、強力であるが光学的に透明な材料の一種であり、打撃時に特に浸透しにくい。

仕様

ガラスの組み合わせ: 15mm透明フロートガラス+ 1.52mm SGP + 15mm透明フロートガラス+ 1.52mm SGP + 10mm透明フロートガラス

サイズ: 最大サイズ3000 * 8000ミリメートル、カスタムカットサイズが利用可能です

深加工: エッジ加工、穴あけ、カットアウトなど

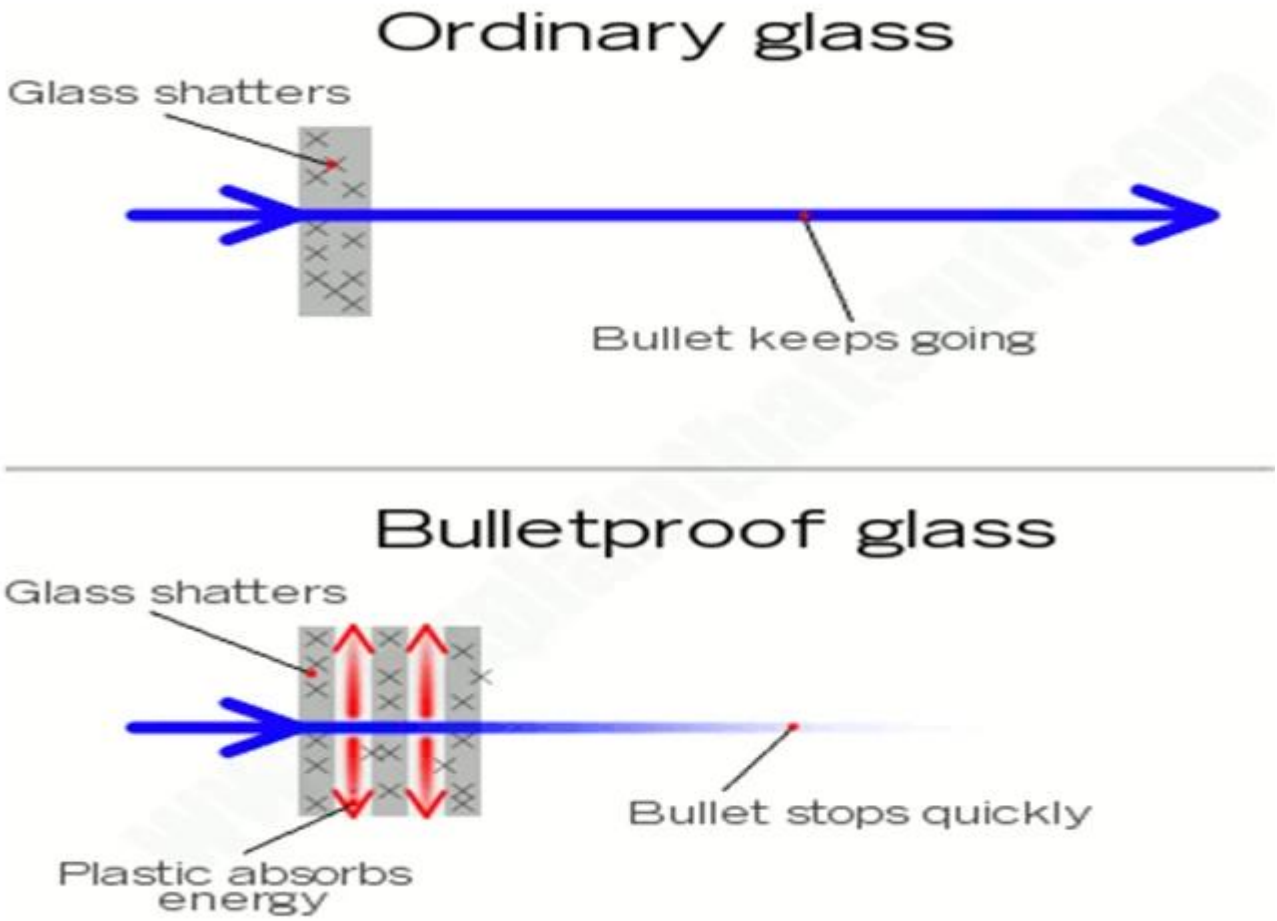
防弾ガラスはどのように機能しますか?

防弾ガラスは通常のガラスとは非常に異なります。より正確には、led耐弾性ガラスです。これは、様々なプラスチックの中間層を備えたガラスの多層から作られています。この層のサンドイッチはcal led積層体である。それは通常のガラスの単一のペインよりも最大10倍厚くてよく、通常は非常に重いです。弾丸が防弾ガラスを打つと、そのエネルギーは層を横切って広がります。エネルギーはガラスとプラスチックのさまざまな部分の間で分割され、広い領域に広がるため、すぐに吸収されます。弾丸はそれほど減速して、突き抜けるほどのエネルギーをもはや持っていないか、そうすると大きなダメージを与える。ガラスの窓ガラスは壊れますが、プラスチック層はそれらが離れて飛んで停止します。防弾ガラスはエネルギー吸収ガラスと考えてください。

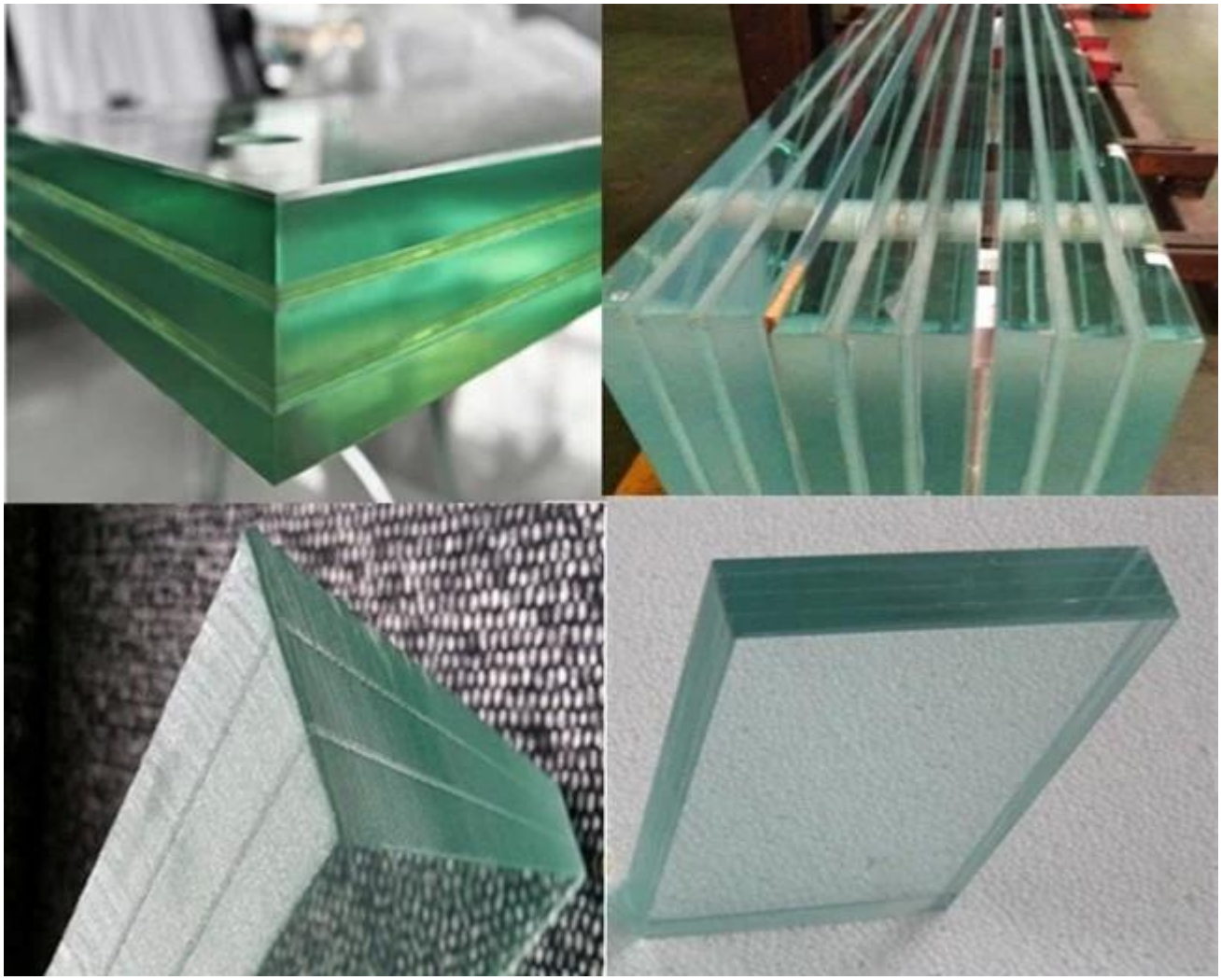
防弾ガラスはどこで使われていますか?

防弾ガラスは、さまざまな状況でさまざまなレベルの保護を提供するために、すべての形とサイズになっています。一般的に、銀行のような場所では、窓口の人が一般的に厚い防弾窓の後ろに座り、防弾引出しを使用して書類やお金を顧客と交換します。一般的に言えば、ガラスの厚さが厚いほど、ガラスの層数が増えるほど、吸収できるエネルギーが増え、保護が強化されます。

43mmの防弾ガラスを除いて、他の製品では 8 + 8 + 8mmの防弾ガラス、10 + 10 + 10mm防弾ガラス、12 + 12 + 12mm防塵ラミネートガラスなど



カスタマイズされたサイズの耐弾集積層安全ガラス



耐圧積層ガラスの生産ラインと強力な包装